

浸水シミュレーションして検討中

3月議会で大谷市議は、災害対策の取組について①花月川河川改修事業と内水氾濫対策、②北友田地区の対策について質問しました。



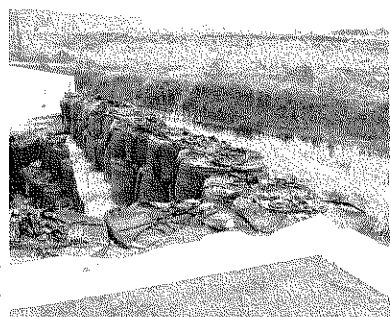
①花月川の河川整備と市道三郎丸西有田線の整備の取組について質問。

土木建築部長は「用地協議は面積で18%取得できる見込。今後もし引き続き用地取得につとめるとともに、令和4年度は架け替えが必要な一新橋と御幸橋の2本の橋梁について、架け替え工事による交通等の影響を調査し、規制や迂回路等の

対策について詳細な検討に着手する予定」と述べました。

②河川改修と同時に進める丸山・吹上地区の内水氾濫対策の検討状況について質問。

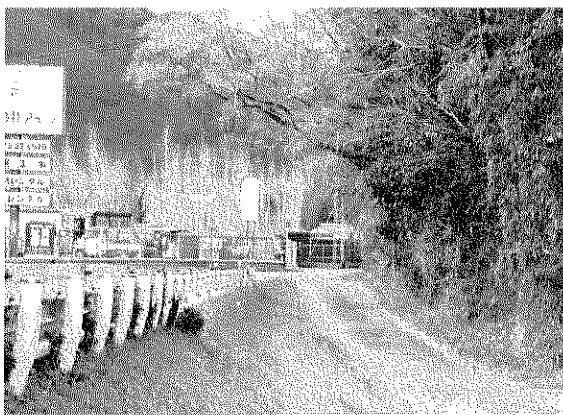
上下水道局長は「対象エリアの排水や浸水の状況にあつた対策検討のため浸水シミュレーションを作り上げた。この浸水シミュレーションによる浸水個所の土地利用や排水路等の地理的な状況に応じて雨水調整池や排水ポンプによる強制的な排除など効果的で効率的な対策案について検討している段階で、現状では具体的な対策案は示すことが出来ない」と答弁しました。



トライアルの裏の堤防12mの未整備部分

③北友田3丁目の水害対策の取組について質問。

土木建築部長は「国と協議していた12mの区間は、今年度中に工事発注する予定。入江地区は国、県、市で対策案の協議ができ、方向性は共有した。今後協議を進めていくにはより詳細な検討が必要で、国は令和4年度早々に測量・設計業務を発注し、詳細な検討に着手する予定」と答弁しました。



北友田3丁目入江地区、国道386号から市道に河川泥水が流入し被災

河川改修と内水氾濫対策の取組

感染拡大の中、子育て支援の拡充を

大谷市議は新型コロナ感染症拡大の中、子育て支援の拡充について、①高校生までの医療費無料化②国保税の均等割軽減を高校生まで拡充することを質問しました。

長期にわたる感染症の影響で、子育て世代の支援が必要になっていきます。市民意識調査を見ても20代から40代の世代では、市に望む対策として、子育て支援の拡充は強いものがあります。大分県内でも4つの自治体が高校生まで無料化を、また別の4つの自治体では中学生まで食事療養費を助成しています。高校生までの医療費無料化の実施を質問しました。

福祉保健部長は「市が実施している中学生までの無料化で国庫負担の減額調整があり、高校生まで拡大すればさらに負担が重くなる。18歳までの子ど

子どもの医療費助成



もを対象にした給付金の支援もあり、現状の中学生までにした」と答弁しました。
国保税の子どもの均等割の負担軽減の高校生までの拡充について、福祉保健部長は「国民健康保険の財政状況は比較的安定している。令和4年度から市が軽減している4分の3を国県が補助することになった。国保運営協議会において今後の財政状況を考慮しつつ、必要性を十分見極めながら論議したい」と答弁しました。